

《文しょうもんだい 8》

文しょうもんだいを やって みよう。こたえ
を 文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの しを よんで、といに こたえよう。

じつと ぼくの ことを

見て いるね

小さな 手が かわいいね

だけど

なきごえは 大きいよ

はじめまして 赤ちゃん

きょうから ぼくが おにいちゃんだ

(とい) ぼくが 小さいと いて いる ものと、
大きいと いて いる ものは なんですか。

【こたえ】

・ 小さい 手

・ 大きい なきごえ

【かいせつ】

しの つぎの ばしよに かかれて います。

じつと ぼくの ことを

見て いるね

小さな 手が かわいいね

だけど

なきごえは 大きいよ

はじめまして 赤ちゃん

きょうから ぼくが おにいちゃんだ

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

ロボットは、人^{にん}げんや どうぶつの すがたや かたちを して いる きかいです。そして、人げんや どうぶつと おなじような うごきを します。

また、人げんの かわりに、こうじょうで じどうてきに はたらく きかいても ロボットと います。

(1) ロボットは どんな すがたや かたちを して いる きかいですか。二つ^{ふた} みつけて かこう。

(2) ロボットは どのような うごきを する きかいですか。□に 入^{はい}る ことばを かこう。

と

(3) ロボットは 人げんの かわりに、どこで はたりますか。

ような うごき

つぎの しを よんで、といに こたえよう。

は る

のはらに きたら

一めん^{いち}に タンポポが さいて いた

まるで ① みたいだ

ちようちようが

② と

おどって いる

おひさまの ^{ちから}カで せかいが

③ と

あたたかく なる

(1) ① に ^{はい}入る ことばを アから ウから

えらぼう。

ア ^{あか}赤い じゅうたん

イ きいろい じゅうたん

ウ ^{あお}青い じゅうたん

(2) ② に 入る ことばを アから ウから

えらぼう。

ア ひらひら

イ だんだん

ウ ひゅうひゅう

(3) ③ に 入る ことばを アから ウから

えらぼう。

ア ぎんぎん

イ ぼかぼか

ウ じんじん



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

人^{にん}げんや どうぶつと おなじような うごきを
を する きかいの ことを ロボットと いい
ます。ロボットは 人げんや どうぶつの すが
たや かたちを して います。

また、人げんのかわりに、こうじょうで
どうてきに はたらく きかいも ロボットと
いいいます。

(1) ロボットは どのような うごきを する
きかいですか。□に ^{はい} 入る ことばを かこう。

と

ような うごき

(2) ロボットは どのような すがたや かたちを
して いる きかいですか。二つ ^{ふた} みつけて
かこう。

(3) ロボットは 人げんのかわりに、どこで
はたらきますか。



つぎの しを よんで、といに こたえよう。

のはらに きたら

一めんいちに タンポポが さいて いた

まるで ① みたいだ

ちようちようが

② と

おどって いる

おひさまの ちからカで せかいが

ぽかぽかと

あたたかく なる

(1) ① に はい入る ことばを アから ウから

えらぼう。

ア あお青の じゅうたん

イ みどりの じゅうたん

ウ きいろの じゅうたん

(2) ② に 入る ことばを アから ウから

えらぼう。

ア ひらひら

イ たんたん

ウ ばたばた

(3) この しの だいは なんですか。アから

ウから えらぼう。

ア はる

イ あき

ウ ふゆ



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

ぼくは いえに かえってから、学校^{がっこう}に さんすうの きょうかしよを わすれた ことに 気づ^きづきました。ぼくは、①と おもいました。ぼくは、あしたまでの さんすうの しゅくだいを まだ やって いなかったのです。

「よし。②。」
そう きめて、ぼくは もう だれも いらない 学校に むかったのです。

(1) ぼくは 学校に なにを わすれて きましたか。□に はい 入る ことばを かこう。

の

(2) ①に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア ふしぎだな
- イ さっぱりしたな
- ウ こまったな

(3) ②に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア しゅくだいは あきらめよう
- イ おかあさんに とりに いって もらおう
- ウ いまから 学校に とりに いこう



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

わたしは いえに かえってから、学校^{がっこう}に こくごの きょうかしよを わすれた ことに 気づ^ききました。わたしは、①と おもいました。わたしは、あしたまでの こくごの しゅくだいを まだ やって いなかったのです。

「よし。②。」

そう きめて、わたしは おこられるのを かくごして おかあさんに おねがいを したのです。

(1) わたしは 学校^{がっこう}に なにを わすれて きましたか。□に ^{はい} 入る ことばを かこう。

の

(2) ①に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア こまったな
- イ さっぱりしたな
- ウ ふしぎだな

(3) ②に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア しゅくだいは あきらめよう
- イ おかあさんに とりに いって もらおう
- ウ いまから 学校^{がっこう}に とりに いこう